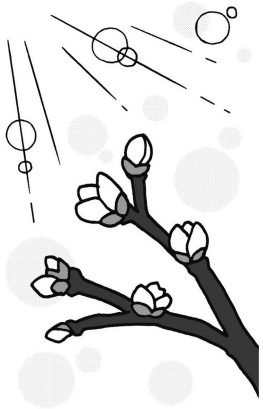
ほけんだより

平成28年3月22日

神港学園神港高等学校

学校保健委員会

春を告げる草



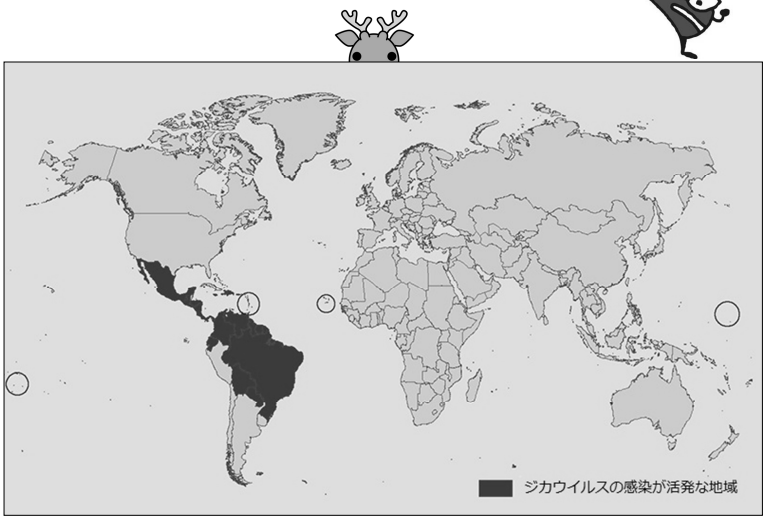
この頃、梅の花をよく見かけるようになりました。梅の花の別名は「春告草(ハルツゲグサ)」春に咲く草花は今からそれぞれの準備を始めています。みなさんの3月も同じ。春に始まる新しい学年に備えてそれぞれの準備を始めてくださいね。みなさんの成長の芽ぶきを楽しみにしています。

ーー知っておこう！最近のNEWS！ーーーーーー

最近、「ジカ熱」という感染症のことをよく耳にします。先月、ブラジルから帰国した男子高校生がジカ熱にかかっていたことから大きく取り上げられました。

☞流行している地域は？

アフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域で発生しています。特に最近では**中南米**での流行が目立ちます。



☞原因はなに？

ジカウイルスというウイルスに感染することでかかります。

☞どのようにジカウイルスに感染するの？

ほとんどは、**ジカウイルス**を持っている**蚊**に刺されることで感染します。ウイルスに感染しているお母さんから子どもが生まれた時に子どもにうつることもあります。また、輸血や性行為からも感染する可能性が疑われています。

☞どんな症状？

軽度の**頭痛**、**発熱**、**関節痛**などがみられます。一昨年に流行したデング熱と症状が似ていますが、デング熱よりも症状は軽いと言われています。しかし、デング熱と違って有効なワクチンは今のところ、開発されていません。また、妊娠中にジカウイルスに感染すると小頭症と言って、頭が小さな子どもが生まれてくることがあります。

薬の名前ってどうやってつけるの？

薬の名前は難しくて覚えにくいですが、意外にもその名前には意味があります。

薬の名前には成分が入った「一般名」と製品として売り出す「商品名」があります。「一般名」は海外でも通じる共通語。「商品名」は日本で売られている商品の名前なので、日本でしか通じません。

例えば「アセトアミノフェン」と言えば、世界中どこでも通用しますが、海外に行って「カロナールください」と言っても通じない。これは、日本語だからです。笑ってしまうけれど、カロナールの由来は「痛みが軽ろなーる」。ウソではありませんよ。他にも面白い由来の薬はたくさんあります。

☆☆☆☆☆薬の名前の由来☆☆☆☆☆

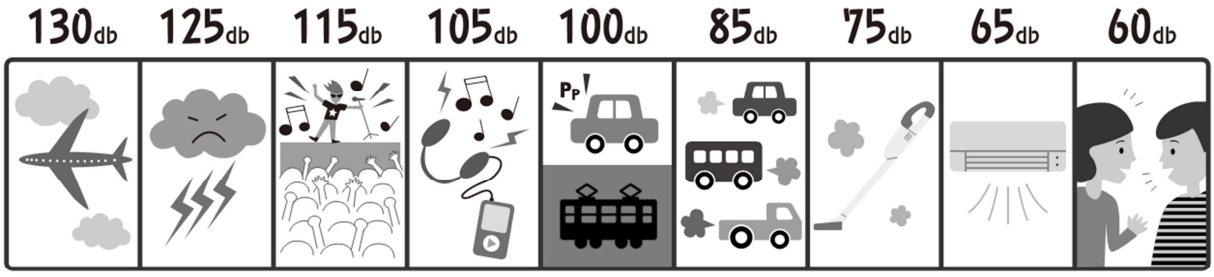
- 「ノーシン」
  ➡脳の痛みがシーンと治まる
- 「ムヒ」
  ➡世界で無比なほどよく効く
- 「コーラック」
  ➡（薬を飲むと）後で楽になる

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

3月3日は「耳の日」でした

（答えはこのページの一番下）

一日聞いても安全な音量と危険な音量のさかい目はどこでしょう？線を引いてみてください。

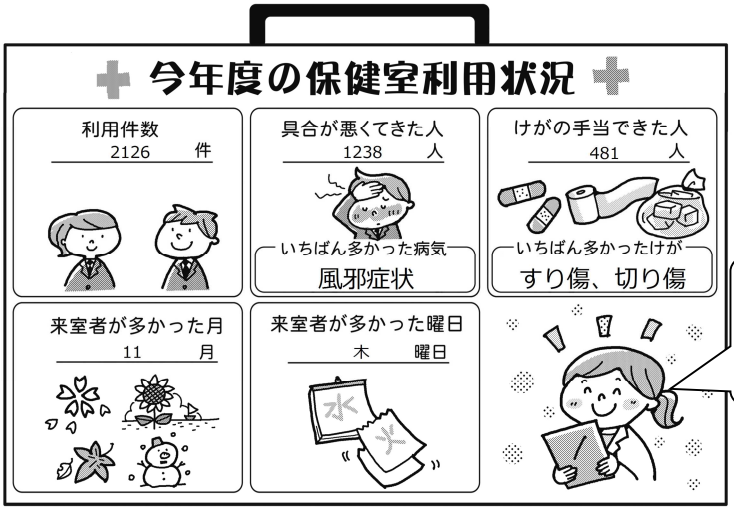


最近、保健室に体温を測りに来た生徒の中に、体温計の音が聞き取れない子増えています。

☆下記の事に心当たりがある人は注意してください☆

- 耳が詰まった感じがする
- 雑音があると、会話が聞き取りにくい
- 会話の中で「え？なんて？」と聞き返すことが増えた

心当たりのある人はいますか？放置していたら聴力が聞こえにくいまま固定されてしまいます。早めに治療をすれば、治る可能性があるので、早めに病院へ行きましょう。



来年度、元気な姿が見られるのを楽しみにしています！

答え：85dBと75dBの間